

<p>(企業名) 原信ナルスオペレーションサービス株式会社</p>	<p>(業種) 小売業 (スーパー原信)</p>
<p>(本社所在地) 長岡市中興野 18 番地 2</p>	<p>(従業員数)</p>
<p>(代表者) 代表取締役社長 原和彦</p>	
<p>【省エネ・再エネに関する自社の取り組み】</p> <p>(取り組みの内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野、新潟市等積雪の少ない地域では店舗の屋根に太陽パネルを設置し店舗で年間使用する電力の10~15%程度を再エネ電力に転換。 ・店舗における照明は全てLED。人感センサーや時間帯での消灯実施。 ・冷凍ケースにはノンフロンケースを採用。 ・営業終了後冷蔵ケースにカーテンを敷き、ナイトセットバック（温度を1~2℃上げて品質を保てる）を実施。また、寿司等の当日売切る冷蔵ケースは商品がなくなれば電源OFF。 <p>(取り組みの成果)</p> <p>上記の各種取組により従来よりも1店舗当りの電気使用量は年間約5~8%程度削減。</p> <p>(現状(今後)の課題・今後取り組みたいこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社は中之島流通団地に物流センター、製造工場等を保有。災害時でも止まることがない施設にすべく、また近隣取引先も数多くあることと、地域貢献からマイクログリッドを構築し、グリッド内での電力融通と蓄電から再エネ比率を上げることと省エネを図りながら、近隣地域の避難所にも停電時電力を供給できるネットワークを構築しようとしている。 ・積雪地域の店舗でも太陽光パネルを設置して再エネ比率を向上させること。 	